

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	2	法に順守しているが、必要に応じてパーティションを活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2		十分に確保されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	4	車椅子使用の児童が今後利用する際には対応を検討する必要がある。(段差、トイレ)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1		毎日のミーティングで業務の振り返りと、今後の方針等について話し合いを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			アンケートは今回2回目である。また、毎日のお迎え時に情報を共有し相互理解を図っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	3	今後実施したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			専門性を生かした所内研修を企画し、機会ある時は外部研修に参加している。また、参加できなかった職員には資料を配布するなど共有化を図っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			保護者やこれまでの通所施設・学校からの情報、本事業所での調査等を踏まえ計画書を作成している。また、定期的なモニタリングを行い、スタッフ間で共有している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4		今後、S-M社会生活能力検査等実施し、質の高い支援ができるよう努めたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		職員の得意分野や専門性を生かして立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			長期休業のプログラムや、季節に合わせたプログラムなど、変化を持たせている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1		季節や風習、学校の行事などとも関連付けたり、テーマを決めて設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		今後、個別活動も充実させるために、課題の内容の見直しや支援法を検討していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎日必ず実施している。内容や担当も、状況によっては、変更して対応できるよう、体制を整えたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			終了後必ず行っているが、勤務によって参加できない職員への共有も徹底していく。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			担当者を決め、さらに相互に情報交換しながら記録している。また、連絡帳への記載内容も盛り込んでいる。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			実施している。また、職員全員で共有し、多面的な視点から判断できるよう努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	1		実施しているが、時々確認する必要がある。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			適切に代表者を決め参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9			学校との連携はできるだけ密にとるよう努めている。行事や授業参観、必要に応じて支援会議を持ったりしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	2	現在は医療的ケアを必要としている児童の支援は行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	2		児童発達支援事業所や相談支援事業所との連携は密に行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4	1	現時点では、その必要性がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4		定期的に話し合いをしたり、研修会に参加したりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3		情報交換をしたり、長期休暇中に公共施設を利用することで、障がいのない子どもと交流する機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9			管理者が参加している。内容については、その都度スタッフに報告し共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			保護者には送迎時や連絡帳で情報を共有している。また、隔月に「むすびだより」を発行し活動状況を知らせている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9			10月～12月にかけて大学教授を招き、6回のペアレントトレーニングを実施した。さらにより多くの保護者が参加できる工夫をしたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			十分に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1		希望する保護者には、定期的な面談以外にも随時そのような機会を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	1	迎えに来る時間帯にママカフェを開催した。多くの保護者が参加し、ゆっくりコーヒーを飲みながら保護者同士が交流することができた。継続して開催したい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		今のところないが、迅速かつ適切に対応できるよう体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			隔月に「むすびだより」を発行し、職員を紹介したり、活動の様子を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			常に取扱いには十分留意するよう細かいチェック、管理状況を把握している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			保護者とのコミュニケーションを大切にし、口頭、プリント等で伝達漏れがないよう努めている。必要な児童には、手話等を用いることもある。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	3	地域の施設を利用する活動は行っている。今後、地域の活動に参加したり、交流したりすることから始めたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2		国や県からの通知文・指示伝達事項は、その都度周知を図っている。常に検証しながら、職員・保護者への周知も徹底したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		1	指定の避難所まで歩いていく練習のほか、災害時の身の守り方等の訓練を活動に組み込んだ。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			社内研修で外部講師を招聘し実施した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1		所内で決定し、事前に保護者に説明をし了解を得ており、個別支援計画にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1		保護者からの情報提供により適切に対応できるよう努めている。また、おやつは持参してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1		ヒヤリハットが起きた際は、報告書に記入し、スタッフ間で情報を共有し再発防止に努めている。

318 52 17